

CBRCニュースレター創刊のご挨拶

生命情報科学研究センター長

秋山 泰



独立行政法人 産業技術総合研究所 生命情報科学研究センター(CBRC)は、平成13年4月に設立され、2年目を迎えた現在、産学官の交流の一環として共同研究の範囲およびその参加人員は急速に広がりつつあります。この度、発展途上の当センターの活動内容を広くご紹介する目的で「CBRCニュースレター」を創刊いたしましたので、謹んでご紹介申し上げます。

CBRCでは、研究職員と外部からの出向研究員がそれぞれ30名を越し、事務系を含めると80名近い人員が集まるようになりました。その運営上の特徴はいくつかありますが、数理統計や計算機科学出身の研究者から、分子生物学や生物物理学出身の研究者まで、さらには物性物理などの離れた分野からの転向者までもが同じフロアに同居しているという学際性とオープンな気風が何よりもまず挙げられます。これからのバイオインフォマティクスには、従来に増して学際的な協調が必要です。柔軟な発想と異分野間インタラクションが、CBRCの最大の特徴かつ財産と考えてまいりました。

もう一つは企業や大学との連携研究により応用的

な成果も目指していることです。既に製薬会社やベンチャーとの共同研究、麹菌ゲノム解析コンソーシアムにおける貢献などを通じて、論文以外にも知的財産等の実成果が挙がってきています。徐々に電子情報系の企業だけではなく、バイオ系の企業や大学からの協力要請が増え、連携は本格化しています。

しかし一方、CBRCの活動は一般には決してわかりやすく見えていないという反省もあります。公的データベースの供給や、生物種を限って研究をするプロジェクトに比べ、バイオインフォマティクス全般の整備とその応用を狙う我々の研究は「選択と集中」が不足したように見られがちだからです。現在の運営戦略がバイオインフォの技術を総合的に伸ばすために十分に検討した結果であることは、成果を見て初めてご理解頂けるものと思います。

CBRCニュースレターを通じて、論文やソフトウェアの成果、インターネット上でのサービスの紹介、研究者の横顔などを広く簡明にお知らせできるよう努力してまいります。

ご愛読いただき、ご意見を賜れば幸いです。